

## くり返しをつかって、音楽をつくろう

学年	小学校 2 年生
教科（授業内容）	音楽（くりかえしをつかって音楽をつくろう）
使用教材	プログラミングゼミ
コスト・環境	タブレット ※ iOS または Windows または Android インターネット接続不要

## 学習活動の概要

### ● 主題の目標

- ▶ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくる。

### ● 主題の内容

本主題の内容は、児童が小学校入学後、初めて学習するもので、既習の 4 分音符や 4 分休符、8 分音符や 8 分休符を用いて、手拍子で音楽づくりをする学習である。拍子のまとまりを考えながら、友達と音を出し合ったり児童自身で試行錯誤したりしながら、音楽の仕組みを生かして音楽づくりをするよさや面白さを味わうことができる学習にしたい。

### ● 教科の学習とプログラミング教育の関連

この学習では、リズムカードを使って楽しみながら音楽をつくる。リズムカードには、2 拍に限定されたいろいろなリズムと、リズムに合う言葉がカードに示されている。反復などの音楽の仕組みを用いながらカードの組み合わせを考えることで、自分のリズムを楽しみながらつくれる。ここで、プログラミングを活用すれば、コンピュータ上で実際に音を出して確かめながらリズムをつくれる。児童は、コンピュータでリズムを再生するために必要な命令(記号)を、適切に選択して組み合わせる体験をすると同時に、試行錯誤を通じて思いに合ったリズム表現を探求できる。

まずは、リズムカードを見ながら手でいろいろなリズムを打ち、カードに書かれたリズムを実際に音に出して確かめる。しかし、2 年生の児童にとって、リズム譜を見てすぐに正確なリズムで演奏することは難しいため、プログラミングを活用してリズムを再生する。すると、簡単にリズムを確認したり、より面白い音楽になるように何度もやり直したりできる。さらに、次に児童が自分でリズムを演奏する際の、範奏として活用できる利点もある。

また、同じカードを反復させる「くりかえし」の機能を活用することで、音楽の仕組みとしての「反復」を意識することにもつながり、音楽の学習をさらに深めることができる。

# 学習指導計画

総時数 3 時間

時	○主な学習活動	・指導・支援 ★評価
1	<p>○「まとまりのある音楽」について知り、どのような音楽をつくりたいかという思いをもつ。</p> <p>○教師の手拍子を聴き、まとまりのある音楽がどのようなものかを知る。</p> <p>○音楽の仕組みとして、反復があることを知る。</p> <p>○4分音符や4分休符、8分音符や8分休符を用いて、つくりたいリズム譜の構成を考える。</p>	<p>・リズムパターンカードを用意する。</p> <p>・カードに合わせて、カスタネットやタンブリンなどの楽器を使ってリズムパターンカードに合わせて演奏させる。</p> <p>★活動に関心をもち、音遊びや簡単なリズム譜をつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>★拍の流れを意識することや、音楽の仕組みには反復があることに気づいている。</p>
2	<p>○リズムやパターンを組み合わせて、まとまりのある音楽をつくる。</p> <p>○4分音符や4分休符、8分音符や8分休符を用いて、リズム譜をつくる。</p> <p>○グループごとに取り組みの成果を発表する。</p>	<p>・リズムパターンカードの並び方を工夫させる。</p> <p>・打楽器を使って演奏しながら、工夫させる。</p> <p>★反復や拍の流れを意識しながら、つくりたいリズム譜に対して思いをもち、思いを達成するための工夫を考えながら、音楽をつくろうとしている。</p>
3	<p>○プログラムを用いて、複数のパターンを組み合わせた、まとまりのある音楽をつくる。</p> <p>○つくったリズム譜を再生するプログラムをつくる。</p> <p>○リズムをつけ加えたり、打楽器の音を追加したりして、グループのテーマにより近づけるようにリズム譜を考える。</p> <p>○グループごとに取り組みの成果を発表する。</p>	<p>・できた組み合わせを聞くことによって、聞き手への伝わり方を知ったり、思いが伝わっているかを確認したりする。</p> <p>・良くなかった場合どのように変更したらよいかを考えるなど、試行錯誤をするきっかけにする。</p> <p>★拍子や音を確認しながら、グループでつくったリズム譜をより良いものにしようという思いをもち、構成や音の種類を工夫しながら、音楽をつくろうとしている。</p>

## 本時の学習（ 2 / 3 時間）

### (1) 本時のねらい

- リズムを意識して、グループで音楽をつくる活動に取り組む。

### (2) 新学習指導要領上の位置付け

- 音楽 [第2学年]
  - [思考力、判断力、表現力等] A 表現(3)

### (3) 本時の展開

○主な学習活動	・指導・支援 ※資料 ★評価
○前時までの活動を振り返る。  ○本時のめあてを確認する。	・リズムカードのリズムを手で打ち、リズムを確かめる。  ・それぞれのリズムカードを拡大して掲示し、みんなで確認しながら表現してリズム譜に親しむようにする。
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>プログラムをつかって、音楽をつくろう！</p> </div>	
○グループごとにつくる音楽の題名(テーマ)を考える  ○グループで題名(テーマ)にあった音楽をつくる。  ○より題名のイメージに近づくために、必要なことを考える。	・教科書に示された例を参考に、ア～カのリズムカードを組みあわせ、4小節のリズムをつくる。  ・「同じカードを使って反復する」という約束に基づいてリズムをつくることを確認する。  ・どういう組み合わせにすると、どんな感じのリズムになるかを想像しながらつくるように促す。  ・つくったリズムをプログラムで再生して聴きながら、より面白い音楽になるように工夫していく。
○グループごとに成果を発表する。  ○それぞれの発表を聞いて感想を述べあう	★反復や拍の流れを意識しながら、つくりたいリズム譜に対して思いをもち、思いを達成するための工夫を考えながら、音楽をつくろうとしている。